

第8回「農芸化学研究企画賞」研究企画(テーマ)申請募集, 及び企業各位への研究資金(寄付金)賛同お申し込みのお願い

本会は2003年度より「農芸化学研究企画賞」を創設し、独創的な研究企画(研究テーマ)を公募いたしており、2010年度も引き続き公募することとなりましたので、正会員各位は奮ってご応募願います。また、本賞の趣旨にご賛同の企業におかれましては、研究資金(寄付金)のご提供にぜひともお申込み下さいますようお願いいたします。

本賞は、企業からの寄付金により行なわれる研究助成事業であります。

1. 賞の目的と趣旨

本賞創設の目的は、産学官連携強化のため、農芸化学分野に「4つの重点研究領域」(下記参照)を設け、各領域における斬新な研究企画(テーマ)を広く会員から募集し、本賞の趣旨に賛同した企業より寄付された研究資金を、産学官学術交流委員会(委員長:本会副会長)が選出した会員研究者に研究奨励助成金として贈呈することにより、農芸化学のさらなる発展を目指そうというものであります。

研究奨励助成金としての本賞は、「近い将来の大きな成果が見込まれる優れた研究の萌芽」に対して贈呈され、助成事業を通して農芸化学分野における斬新で独創的な研究の推進を産業界が強力で支援し、これを機会に産業界と学・官界の連携をより密接なものにしようというものです。従来の研究助成や賞が「研究成果」に贈られるのに対して、本賞は今後の成果(産業化)が大いに期待される「研究の芽」を積極的に見だし、顕彰・奨励するものです。

産学官学術交流委員会は、企業からの研究資金(寄付金)の受け入れ、研究企画(テーマ)の公募・選出などの運営全般において情報管理には特に留意することは申すまでもなく、また選出された研究企画の成果は研究者の所属機関に帰属するものであり、成果の公表に関して委員会が関与することはありません。

2. 4つの重点研究領域

今回、下記の重点研究領域(①~④)において研究企画(テーマ)を募集いたします。

- ①天然物の医薬・農薬(選出は2件以内)
- ②機能性食品素材および食品(選出は2件以内)
- ③グリーンバイオテクノロジー:((1)バイオマス資源の生産・供給・利用(有用物質生産プロセス等)に関わるテクノロジー、(2)省資源・省エネルギープロセスに関わるバイオテクノロジー、(3)有機性廃棄物処理・資源循環に関わるバイオテクノロジー)(選出は2件以内)
- ④「地場産業の創生と活性化」(支部に申請する)(選出は2件以内)

※上記④の領域にお申し込みご希望の方は、本会事務局でなく、所属される支部あてに申請して下さい。支部では、申請を取りまとめて、締切期日までに本会に提出します。

(重点研究領域は、今後も委員会で必要に応じて見直しを行ない、あらたな重点研究領域を考えていく予定です)

3. 助成の金額と件数, および研究期間

助成金額は研究企画(テーマ)選出1件につき200万円まで、4領域各2件以内、合計1,200万円まで、となります。研究期間は申請の翌年の4月1日から2年とします。

4. 応募資格

本会正会員で、官公立大学・私立大学・高等専門学校・独立行政法人研究所など、公的な非営利研究機関に在籍する職員・研究者を対象とします。年齢などの制限はありません。学生・企業関係機関在籍者は対象外とします。

5. 応募用紙の取得と申請の締切

所定の応募用紙(別紙、WORD版、全4ページ以内)に必要事項をご記入の上、**2010年(平成22年)10月26日(火)までにメールで提出していただきます。**(応募用紙は本会ホームページよりダウンロードするか、本会庶務係あてメール(shomu-a@jsbba.or.jp)でご請求いただければただちにお送りいたします)

6. 申込先(提出先)※④「地場産業の創生と活性化」に申請される方は、所属される支部あてですので、間違えないようご注意ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2F (社)日本農芸化学会事務局庶務係 e-mail : shomu-a@jsbba.or.jp

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

本会ホームページ : <http://www.jsbba.or.jp/>

7. 選考

産学官学術交流委員会内に設ける4つの重点研究領域の「テーマ選定小委員会」において各2件以内の選考を行ない、選考結果を委員会に推薦します(申請のあった研究企画(テーマ)の内容についての秘密は厳格に保持されます)。「テーマ選定小委員会」は産業界の専門家によって構成されます)小委員会からの推薦を受けて、委員会は最終的に4つの重点研究領域各々2件以内、合計8件以内の研究企画(テーマ)を本年12月の委員会で選出いたします。選出後、応募者に委員会から選出結果の通知をいたします。

8. 顕彰と事後報告

選出された研究企画(テーマ)の申請者(受賞者)には、申請締切の翌年の総会当日、受賞した研究企画(テーマ)について簡単な内容紹介(講演)をお願いすることになっています。本会会誌およびホームページには、選出された研究企画(テーマ)および申請者(受賞者)氏名・所属などを掲載いたします。また、研究期間の中間時期(研究スタート1年後)の大会当日、「産学官学術交流委員会フォーラム」において、受賞者の研究の進捗状況報告を兼ねた中間研究報告会(講演)を開催いたします。なお、さらに研究終了(2年)の年の大会当日の「産学官学術交流委員会フォーラム」において、受賞者の研究の最終研究報告会(ポスター)を開催いたします。また、2年間の研究期間終了後6カ月以内

に、所定の会計報告書および研究結果報告書を産学官学術交流委員会に提出していただきます。

9. 知財権, など

選出された研究企画（テーマ）の知財権（知的財産権）は、研究者の所属機関に帰属するものとします。研究資金（寄付金）の提供に参加された企業への交渉などの優先実施権は設けておりませんが、選出された研究者の所属機関との個別の折衝に対しては、委員会は特に関与いたしません。

10. お願い：研究資金（寄付金）ご提供のお申込みについて

企業の皆様には、ぜひとも本賞の趣旨にご賛同いただき、研究資金（寄付金）の提供をお申込みいただきたく、お願い申し上げます。研究資金（寄付金）は、単年度扱い、一口20万円を単位とし、上記の重点研究領域のいずれかに、自由な口数にてお申込みいただいで結構です。

研究資金（寄付金）をお申込みいただける場合は、2011年(平成23年)1月31日(月) [消印有効] までに、所定の用紙にて上記の本会事務局庶務係あて、郵送にてお申込みください。 所定の用紙は、上記の本会お申し込み先にご請求ください。ただちにお送り申し上げます。その際、ご関心のある重点研究領域（例：①天然物の医薬・農薬、など）とお申込み口数（例：2口・40万円など）を明記してください。

お申込みいただいた企業各位には、恐れ入りますが会計年度内の2011年(平成23年)2月末までに、研究資金（寄付金）を本会銀行口座（みずほ銀行本郷支店 普通預金 290313 社団法人日本農芸化学会）へお振込みいただくこととなりますので、ご注意願います。

なお、研究資金（寄付金）のお申込みは単年度扱いですが、本賞事業継続のためにも出来るだけ継続してご支援をお続けいただければ幸いです。

研究企画賞応募用紙はこちらから

研究資金（寄付金）の申込み書はこちらから